



## ユーザの追加

---

この章では、Cisco Unified Communications Manager の LDAP データベース内で、ユーザレコードを管理する方法、および電話機とユーザ、または CTI ポートとユーザレコードなどのユーザの組み合わせを使用する方法について説明します。

- [新しいユーザグループの追加およびユーザの関連付け \(1 ページ\)](#)
- [ユーザの追加 \(2 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートを使用したユーザー用 CSV データファイルの作成 \(2 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートのユーザデータフィールドの説明 \(4 ページ\)](#)
- [ユーザの追加関連のトピック \(7 ページ\)](#)

## 新しいユーザグループの追加およびユーザの関連付け

Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用して、新規ユーザーのグループを追加したり、Unified Communications Manager データベースの電話やその他の IP テレフォニーデバイスにユーザーを関連付けたりします。



- (注) 社内ディレクトリを使用していて、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 同期を有効にしている場合 (Cisco Unified Communications Manager Administration で、[システム (System)] > [LDAP] > [LDAP システム (LDAP System)] の順に選択します)、BAT を使用してパスワードのリセットや、ユーザの挿入、更新、削除は実行できません。

### 関連トピック

- [ユーザの追加 \(2 ページ\)](#)
- [ユーザレコードのエクスポート](#)
- [ユーザレポートの生成](#)

## ユーザの追加

BAT スプレッドシートを使用して複数の新しいユーザを Unified Communications Manager データベースに一括で追加するには、CSV データファイルを作成する必要があります。Cisco IP SoftPhone のように CTI ポートを必要とするアプリケーションを使用するユーザのために、BAT で CTI ポートを既存のユーザに関連付けることができます。

### 手順

- ステップ 1** 追加する各ユーザに対して個別の値を定義するには、カンマ区切り値 (CSV) データファイルを作成します。
- ステップ 2** BAT を使用して、ユーザを Unified Communications Manager データベースに挿入します。

### 関連トピック

- [テキストベースの CSV ユーザ ファイルの作成](#)
- [BAT スプレッドシートを使用したユーザー用 CSV データファイルの作成 \(2 ページ\)](#)
- [Unified Communications Manager データベースへのユーザの挿入](#)
- [ユーザの追加関連のトピック \(7 ページ\)](#)

## BAT スプレッドシートを使用したユーザー用 CSV データファイルの作成

Unified Communications Manager データベースに新しいユーザを追加するための詳細情報を BAT スプレッドシートに入力し、それを CSV データファイルに変換することができます。



- (注) BAT スプレッドシートに空の行を含めると、その空の行がファイルの終わりとして扱われず、空の行より後に入力されたデータは BAT 形式に変換されません。

BAT スプレッドシートでユーザを追加するためのフィールドを編集し終わったら、その内容を CSV 形式のデータファイルにエクスポートできます。エクスポートされた CSV 形式のデータファイルには、次のようなデフォルトのファイル名が割り当てられます。

```
<tabname>-<timestamp>.txt
```

ここで、<tabname> は電話機などの作成された入力ファイルのタイプを表し、<timestamp> はファイルが作成された正確な日時を表します。

エクスポートしたファイルをローカルワークステーションに保存したら、CSV 形式のデータファイルの名前を変更できます。いずれかのフィールドにカンマを入力すると、BAT 形式にエクスポートする際に BAT.xlt はそのフィールド エントリを二重引用符で囲みます。



- (注) CSV ファイル名にカンマが含まれていると (例: abcd,e.txt)、Unified Communications Manager サーバにアップロードできません。

## 手順

- ステップ 1** BAT スプレッドシートを開くには、BAT.xlt ファイルを探してダブルクリックします。
- ステップ 2** スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (EnableMacros)] をクリックします。
- ステップ 3** ユーザを追加するには、スプレッドシートの下部にある [ユーザ (Users)] タブをクリックします。
- ステップ 4** すべての必須フィールドと関連するオプションフィールドに値を入力します。各列の見出しではフィールドの長さが指定され、また必須であるか、オプションであるかも指定されます。各行に、オンラインヘルプファイルの説明に従って情報を入力します。
- ユーザが複数のデバイスを使用している場合は、デバイスごとに、デバイス名フィールドに入力する必要があります。
  - 新規ユーザに関連付ける追加のデバイス名を入力するには、[制御するデバイスの数 (Number of Controlled Devices)] テキストボックスに値を入力します。
- (注) CTI ポート、ATA ポート、H.323 クライアントを含む、すべてのデバイスをユーザと関連付けることができます。
- ステップ 5** 新規ユーザに関連付ける追加のデバイス名を入力するには、[制御するデバイスの数 (Number of Controlled Devices)] テキストボックスに値を入力します。
- ステップ 6** [BAT 形式にエクスポート (Export to BAT Format)] をクリックして、BAT Excel スプレッドシートから CSV 形式データファイルにデータを転送します。
- このファイルは、デフォルトのファイル名 (<tablename>-<timestamp>.txt) で、C:\XLSDataFiles に保存されます。または [参照 (Browse)] を使用して別の既存フォルダに保存することもできます。
- ヒント** エクスポートされた CSV データファイルを読み取る方法については、BAT の [ユーザの挿入 (Insert Users)] ウィンドウにある [サンプルファイルの表示 (View Sample File)] へのリンクをクリックします。

## 次のタスク

CSV データファイルを Unified Communications Manager データベース サーバの最初のノードにアップロードして、BAT がデータファイルにアクセスできるようにする必要があります。

## 関連トピック

[CSV データファイルを作成するために BAT スプレッドシートのデータを収集するユーザの追加関連のトピック \(7 ページ\)](#)  
[ファイルのアップロードおよびダウンロード](#)

## BAT スプレッドシートのユーザ データ フィールドの説明

次の表は、ユーザの詳細を追加するためのフィールドの説明を示しています。

表 1: ユーザを追加するための BAT スプレッドシートのフィールドの説明

フィールド	説明
名	電話ユーザの名を、64 文字以内で入力します。
[ミドル ネーム (Middle Name) ]	電話ユーザのミドル ネームを、64 文字以内で入力します。
[姓 (Last Name) ]	電話ユーザの姓を、1 文字以上 64 文字以下で入力します。
[ユーザID ( User ID) ]	電話ユーザの姓を、1 文字以上 128 文字以下で入力します。
パスワード (Password)	ユーザが <b>Cisco IP Phone Configuration</b> ウィンドウにアクセスするために必要なパスワードを、最大 128 文字で入力します。  ユーザ テンプレートを追加するときには、CSV データ ファイルで、または、BAT ユーザ インターフェイスを使用してパスワードを指定する必要があります。各ユーザまたはユーザ グループの個々のパスワードを適用する場合、CSV ファイルでパスワードの情報を指定します。すべてのユーザにデフォルトのパスワードを使用する場合は、ユーザを BAT に挿入するときにデフォルトのパスワードを指定します。
[マネージャ ユーザ ID (Manager User ID) ]	この電話機のユーザのマネージャ ユーザ ID を最大 128 文字で入力します。
[部署名 (Department) ]	この電話ユーザに対して、部署番号を 64 文字以内で入力します。

フィールド	説明
PIN	<p>エクステンションモビリティに使用する個人識別番号 (PIN) を、128 桁以下の数字で入力します。</p> <p>ユーザ テンプレートを追加するときには、CSV データ ファイルで、または、BAT ユーザ インターフェイスを使用して PIN を入力する必要があります。各ユーザまたはユーザのグループの個々の PIN を適用する場合は、CSV ファイルで PIN を指定します。すべてのユーザが使用できるデフォルト PIN を使用する場合、ユーザを BAT に挿入する際にデフォルト PIN を提供します。</p>
[デフォルト プロファイル (Default Profile) ]	<p>このユーザとデバイスのデフォルト プロファイルを、50 文字以内で入力します。BAT に表示される Cisco Unified Communications Manager Administration の既存の UDP の一覧から、ユーザ デバイス プロファイルを選択できます。</p>
[ユーザ ロケール (User Locale) ]	<p>このユーザと関連付ける言語と国のセットを、50 文字以内で入力します。この選択によって、このユーザに関して存在する文化依存の属性と、Cisco Unified Communications Manager のユーザ ウィンドウと電話機に表示される言語が決定されます。</p>
[制御するデバイス 1 (Controlled Device 1) ]	<p>このユーザと関連付ける電話とデバイスの名前を、50 文字以内で入力します。</p> <p>(注) [制御するデバイス (Controlled Device) ] フィールドは、スプレッドシートの一歩右にある [制御するデバイスの数 (Number of Controlled Devices) ] フィールドが 0 よりも大きい値に設定されている場合に表示されます。</p>
[電話番号 (Telephone Number) ]	<p>この電話のプライマリ内線 (通常は回線 1) に、電話番号を 64 桁以下の数字で入力します。</p>
[プライマリ内線 (Primary Extension) ]	<p>このフィールドはユーザが追加された後に表示され、ユーザのプライマリ データベース番号を表します。デバイスをユーザに関連付ける場合は、プライマリ ラインを選択しません。ユーザは、電話機に複数の回線を接続できます。</p>
[関連付けられた PC (Associated PC) ]	<p>このフィールドは Cisco ソフトフォンおよび Cisco Unified Communications Manager アテンダント コンソールのユーザには必須で、ユーザが追加された後に表示されます。</p>
[IPCC 内線 (IPCC Extension) ]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、このユーザの IPCC 内線を選択します。</p>

フィールド	説明
[メールID (Mail ID) ]	ユーザの電子メールアドレスを、255文字以下で入力します。
[制御するデバイス 2 (Controlled Device 2) ]	このユーザと関連付ける追加の電話の名前を、50文字以内で入力します。  (注) [制御するデバイス (Controlled Device) ] フィールドは、スプレッドシートの一番右にある [制御するデバイスの数 (Number of Controlled Devices) ] フィールドが 0 よりも大きい値に設定されている場合に表示されます。
[プレゼンス グループ (Presence Group) ]	データベース番号 (プレゼンスエンティティ) の状態をウォッチするプレゼンス グループを入力します。
[SUBSCRIBE コーリング サーチ スペース (SUBSCRIBE Calling Search Space) ]	Cisco Unified Communications Manager Administration で設定するすべてのコーリング サーチ スペースが [SUBSCRIBE コーリング サーチ スペース (SUBSCRIBE Calling Search Space) ] ドロップダウン リスト ボックスに表示されます。  [コーリング サーチ スペースの登録 (SUBSCRIBE Calling Search Space) ] では、Cisco Unified Communications Manager がエンドユーザから発行されたプレゼンス サブスクリプション要求をルーティングする方法が決定されます。この目的で明示的にコーリング サーチ スペースを設定するには、すべてのコーリング サーチ スペースを設定する場合と同じようにコーリング サーチ スペースを設定します ([コール ルーティング (Call Routing) ] > [クラス制御 (Class Control) ] > [コーリング サーチ スペース (Calling Search Space) ]) 。
[ダイジェストクレデンシャル (Digest Credentials) ]	SIP を実行している電話のダイジェスト認証を設定する場合、電話が Cisco Unified Communications Manager に SIP リクエストを送信するたびに、Cisco Unified Communications Manager は電話のアイデンティティを確認します。このフィールドに入力したダイジェスト クレデンシャルは、[電話の設定 (Phone Configuration) ] ウィンドウでダイジェスト ユーザを選択した場合に、電話に関連付けられます。  最大 128 文字の英数字からなる文字列を入力します。  ダイジェスト認証の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。

フィールド	説明
[ユーザ グループ (User Group) ]	ユーザが所属するユーザ グループを入力します。  (注) [ユーザグループ (User Group) ]フィールドは、スプレッドシートが一番右にある[ユーザグループの数 (Number of User Groups) ]フィールドが0よりも大きい値に設定されている場合に表示されます。
[Directory URI]	このユーザのプライマリ エクステンションに関連付けるプライマリ Directory URIを入力します。username@host の形式で入力してください。最大 47 文字の英数字からなるユーザ名を入力します。ホストアドレスには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。  (注) Cisco Unified CM の管理ページで、二重引用符またはコンマが組み込まれた複数の URI を入力できます。ただし、一括管理を使用して、二重引用符やコンマが組み込まれたディレクトリ URI を含む csv ファイルをインポートする場合には、ディレクトリ URI 全体を二重引用符で囲み、組み込まれた二重引用符を二重引用符でエスケープする必要があります。たとえば、「Jared,"Jerry",Smith@test.com」というディレクトリ URI は、csv ファイルでは「"Jared",""Jerry""",Smith@test.com」と入力する必要があります。
[セルフサービス ユーザ ID (Self-Service User ID) ]	セルフサービス ユーザ ID は、ユーザを識別するために使用される DTMF 数字列です (通常はユーザの電話番号と同じです)。
[プロファイル (User Profile) ]	[ユーザプロファイル (User Profile) ]は、ユーザのグループ全体にわたって共有される設定の集合です。このプロファイルは、新しいデバイスを作成する際に使用されます。
[EM 最大ログイン時間 (EM MAX LOGIN TIME) ]	Extension Mobility (EM; エクステンションモビリティ) および Extension Mobility Cross Cluster のユーザの最大ログイン時間を入力します。値を分単位で入力します。値の範囲は 0 ~ 10080 分 (7 日間) です。

## ユーザの追加関連のトピック

- [ユーザの追加 \(2 ページ\)](#)
- [ユーザ レコードのエクスポート](#)

- ユーザ レポートの生成
- BAT ログ ファイル。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。